

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年2月26日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年2月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【ホールボディカウンタによる不適切な測定について】 ホールボディカウンタによる定期測定は、対象者本人が期限までに測定を完了する法令要求があるが、協力企業において、測定期限が迫っている作業員の代わりに同僚の作業員がホールボディカウンタを測定していることがわかった。 測定期限が迫っていた作業員が、測定出来なかった場合、今後の作業に従事出来なくなるとの思い込みや元請や他企業にも迷惑がかかると思い代わりに測定した、とのこと。 今回の不適切な行為を踏まえた暫定対策として、発見日翌日午前11時より、ホールボディカウンタに監視員を配置し測定前の本人確認をすることとした。 今後、再発防止策の検討、実施をする。</p>	G II	2月19日
2	<p>【3号機格納容器ガス管理設備ダクトホース監視用のWebカメラ映像不良について】 3号機主蒸気隔離弁室前に設置してある格納容器ガス管理設備ダクトホース監視用Webカメラの映像が映っていないことを確認。 通信回路の状態に異常がないことを確認。 今後、原因を調査し対応を検討する。</p>	G III	2月15日